

受験番号						
------	--	--	--	--	--	--

午前の部

# 登録販売者試験

(平成21年2月18日実施)

## 試験問題

医薬品に共通する特性と基本的な知識・・・ 問 1 ～問 2 0  
 主な医薬品とその作用・・・・・・・・・・・・ 問 2 1～問 6 0

### 注意事項

- 試験開始のアナウンスがあるまで、問題を開かないこと。
  - 試験監督員のアナウンスにより、問題用紙の表紙に受験番号を記入するとともに、解答用紙に氏名及び受験番号（6桁）を記入すること。  
 (注) ①受験番号は、算用数字で記入すること。  
 ②解答用紙の「受験番号記入欄」には、受験番号に対応した数字をマークすること。
  - 問題用紙は、表紙を除いて30ページある。試験開始後、乱丁等がないかを確認し、異常があるときは速やかに試験監督員に申し出ること。
  - 各問題について、答えを一つ選び、その番号のカッコの中全体をHBより濃い黒鉛筆で濃くぬりつぶすこと。（下記（例）参照）
- (例)【問150】  
 次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。
- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   | a | b | c |
| 1 | 正 | 誤 | 正 |
| 2 | 正 | 誤 | 誤 |
| 3 | 正 | 正 | 誤 |
| 4 | 誤 | 正 | 誤 |
| 5 | 誤 | 誤 | 正 |
- a.  $1+1=2$ である。  
 b.  $5-3=3$ である。  
 c.  $1 \times 2=2$ である。
- aは正、bは誤、cは正であるから、正しい答えは「1」となる。  
 よって、問題番号に対応した解答用紙の番号「150」欄の「1」を塗りつぶすこと。
- |     |
|-----|
| 150 |
| 〔1〕 |
| 〔2〕 |
| 〔3〕 |
| 〔4〕 |
| 〔5〕 |

→

150
■
〔2〕
〔3〕
〔4〕
〔5〕
- なお、答えを修正した場合は、必ず消しゴムであとが残らないように完全に消すこと。鉛筆のあとが残った場合は、修正または解答したことにならないから注意すること。
- 解答用紙の<注意事項>もよく読んでおくこと。

## 医薬品に共通する特性と基本的な知識

### 【問1】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品は、多くの場合、人体に取り込まれて作用し、効果を発現させるものである。
- b. 人体に対して使用されない医薬品の殺虫剤は、誤って人体がそれに曝<sup>さら</sup>されても健康を害するおそれは全くない。
- c. 医薬品は、有益な効果だけをもたらすものである。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

### 【問2】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品は、医療用医薬品と比較すればリスクは相対的に高い。
- b. 登録販売者は、購入者が一般用医薬品を適切に選択し、適正に使用するために適切な情報提供をすることが必要である。
- c. 登録販売者は、購入者が一般用医薬品を適切に選択し適正に使用するために、購入者が知りたい情報を十分に得ることができるように、相談に対応することが不可欠である。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	正	正	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	正

【問 3】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品の添付文書は、発売当初から 5 年単位でまとめて改定されることとなっている。
- b. 登録販売者は、常に医薬品の有効性、安全性等に関する新しい情報の把握に努める必要がある。
- c. 人体に直接使用されない医薬品についても、市販後の有効性と安全性等の確認が行われる仕組みになっている。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問 4】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 免疫は、本来、細菌やウイルスなどが人体に取り込まれたとき、人体を防御するために生じる反応である。
- b. 医薬品を十分注意して適正に使用した場合には、副作用が生じることはない。
- c. 複数の疾病を有する人の場合、ある疾病のために使用された医薬品の作用が、その疾病に対して薬効をもたらす一方、別の疾病に対しては症状を悪化させたり、治療が妨げられたりすることもある。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問5】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品の添加物である黄色4号（タートラジン）は、古くから使用されており、安全性が高くアレルギーを引き起こさないことがわかっている。
- b. 市販のかぜ薬を使用してアレルギーを起こしたことがある人は、その原因となった医薬品の使用を避ける必要がある。
- c. 医薬品の添加物であるカゼインは、食品にも広く使用され、動物実験でも安全性が確かめられており、アレルギーを引き起こさないことがわかっている。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問6】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アレルギーは、内服薬だけでなく、外用薬でも引き起こされる。
- b. アレルギー症状は、鼻汁やくしゃみ等の鼻炎症状、<sup>じんましん</sup>蕁麻疹や<sup>しっしん</sup>湿疹等の皮膚症状に限定される。
- c. 鶏卵を原材料として作られている医薬品は、カプセル剤として製剤化すれば、鶏卵でアレルギーを引き起こしたことがある人が使用してもアレルギーを引き起こすことはない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	誤	正
4	誤	誤	正
5	誤	誤	誤

【問7】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品の内服薬は、軽度な疾病に伴う症状の改善等を図るものである。
- b. 一般用医薬品は、副作用の兆候が現れたときには、基本的に用量を減らして継続して使用することとされている。
- c. 一般用医薬品の副作用には、眠気や口渇等の比較的良好に見られるものは含まれない。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問8】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品は、医療用医薬品と違い、早く効き目が現れるようにするため、定められた用量を超えて飲むこともできる。
- b. 一般用医薬品の不適正な使用には、使用する人の誤解や認識不足に起因するものがある。
- c. 一般用医薬品の不適正な使用には、医薬品を本来の目的以外の意図で使用したことによるものがある。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	誤
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問9】

次の a～c の一般用医薬品の販売における登録販売者の対応に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 登録販売者は、かぜ症状の購入者に対し、かぜ薬を一定期間使用しても症状が改善しない場合には、医療機関を受診し、医師の診断を受けるよう勧奨した。
- b. 登録販売者は、習慣性や依存性がある成分を含んでいる医薬品を必要以上に大量に購入する者に対し、何のためにその医薬品を購入しようとしているのかを確認した。
- c. 登録販売者は、購入者に対し医薬品を使用する前に添付文書や製品表示を必ず読むなど、その適正な使用が図られるよう説明した。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	正
3	正	正	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	正

【問10】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品は、その有効成分の量が比較的少なく安全性が高いので、複数の一般用医薬品を一緒に併用しても相互作用が起こることはない。
- b. 医薬品の相互作用とは、複数の医薬品を併用したときに、医薬品の作用が増強する場合のことをいうのであって、作用が減弱する場合には相互作用とはいわない。
- c. 酒類（アルコール）をよく摂取する者では、その代謝機能が高まっていることが多く、アセトアミノフェンは、通常よりも代謝されやすくなり、体内から速く消失して十分な薬効が得られなくなることがある。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問 1 1】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 同じ有効成分を含んでいる複数の医薬品を一緒に服用しても、相互作用が生じることはなく副作用を招く危険性が減る。
- b. 食品中に医薬品の成分と同じ物質があると、同じ成分を含む医薬品とその食品を一緒に服用すると過剰摂取となることがある。
- c. かぜを治すには、かぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬及び鎮咳去痰薬<sup>がいたん</sup>の 4 つの一般用医薬品を一度に服用するべきである。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問 1 2】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 小児に対して医薬品を使用する場合には、保健衛生上のリスク等について成人と別に考える必要がある。
- b. 医薬品の使用上の注意等において、おおよその目安として、幼児とは 10 歳までの者のことをいう。
- c. 医薬品によっては、形状等が小児向けに作られていないため小児に対して使用しないことなどの注意を促している場合がある。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	正
4	誤	正	誤
5	誤	誤	正

【問13】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 嚥<sup>えんげ</sup>下障害とは、胃腸の機能が低下して下痢症状になることをいう。
- b. 高齢者に一般用医薬品を販売する際には、実際にその医薬品を使用する高齢者の個々の状況に即して、適切に情報提供や相談対応がなされることが重要である。
- c. 一般に肝臓や腎臓の機能が低下している高齢者では、代謝や排泄が遅くなり、医薬品の副作用が現れにくくなる。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	正	誤
4	誤	正	正
5	正	誤	誤

【問14】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 母体が、医療用医薬品を使用した場合に胎盤関門によってどの程度医薬品成分の胎児への移行が防御されるかは、未解明なことが少なくないが、一般用医薬品については、全て解明されている。
- b. 妊娠の有無やその可能性については、他人に知られたくない場合もあることから、医薬品の販売時に相談対応する際には購入者側のプライバシーに十分配慮して行う。
- c. 医薬品の成分が乳汁中に移行することはないので、母乳を介して乳児が医薬品の成分を摂取することはない。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤



【問15】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 通常、医薬品を使用したときにもたらされる反応や変化には、薬理作用によるもののほか、プラセボ効果によるものも含まれている。
- b. プラセボ効果によってもたらされる反応や変化は、望ましいもの（効果）だけであり、不都合なもの（副作用）はない。
- c. プラセボ効果は、客観的に測定可能な変化として確実に現れるので、それを目的として医薬品を使用するべきである。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	正	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問16】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 医薬品は、高温や多湿によって品質の劣化を起こしやすいものが多いが、光（紫外線）による劣化はない。
- b. 表示されている「使用期限」は、開封された状態で保管された場合に品質が保持される期限である。
- c. 医薬品は、適切な保管・陳列がなされたとしても、経時変化による品質の劣化は避けられない。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	誤	正	正
3	正	正	正
4	正	正	誤
5	正	誤	誤

【問17】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 一般用医薬品は、医療機関での治療を受けるほどではない体調の不調や疾病の初期段階、あるいは日常において、生活者が自らの疾病の診断、治療若しくは予防又は生活の質（QOL）の改善・向上を図ることを目的とされるものである。
- b. WHOによれば、セルフメディケーションとは、自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすることとされている。
- c. 登録販売者においては、購入者等が、自分自身や家族の健康に対する責任感を持ち、適切な医薬品を選択して、適正に使用するよう、働きかけていくことが重要である。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	正	誤
3	誤	誤	正
4	正	正	正
5	誤	正	誤

【問18】

登録販売者が、医薬品の購入者から確認しておきたいポイントのうち、正しい組合せを次の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. その医薬品を使用する人が、過去にアレルギーや医薬品による副作用の経験があるかを確認した。
- b. その医薬品を使用する人の両親及び兄弟の年齢を確認した。
- c. その医薬品を使用する人の血液型を確認した。
- d. その医薬品を使用する人が、医療機関で治療を受けていないかを確認した。

1. (a, b)    2. (a, d)    3. (b, c)    4. (b, d)    5. (c, d)

【問19】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. サリドマイドは、過去に催眠鎮静成分として承認されたが、副作用として血管新生を妨げる作用もあった。
- b. サリドマイド訴訟は、サリドマイド製剤を妊娠している女性が使用したことにより、出生児に四肢欠損、耳の障害等の先天異常が発生したことに対する損害賠償訴訟である。
- c. サリドマイドには、光学異性体がない。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	正	正	誤
4	誤	誤	正
5	誤	正	正

【問20】

次のa～cの記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. スモン訴訟は、整腸剤として販売されていたキノホルム製剤を使用したことにより、亜急性脊髄視神経症に罹患したことに対する損害賠償訴訟である。
- b. サリドマイド製剤は、1957年に西ドイツ（当時）で販売が開始され、1961年、西ドイツのレント博士がサリドマイド製剤の催奇形性について警告を発し、西ドイツでは製品が回収されるに至った。
- c. 日本では、サリドマイド製剤やキノホルム製剤は、一般用医薬品として販売されたことはない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	誤	誤	正
4	正	正	誤
5	誤	正	誤

## 主な医薬品とその作用

### 【問 2 1】

かぜ薬に配合される解熱鎮痛成分の正しい組み合わせを次の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アセトアミノフェン
- b. イブプロフェン
- c. 塩酸ブロムヘキシン
- d. ノスカピン

1. (a, b)    2. (a, c)    3. (b, c)    4. (b, d)    5. (c, d)

### 【問 2 2】

かぜ薬に配合される成分とその配合目的の関係が正しいものの組み合わせを次の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

成分	配合目的
a. 塩化リゾチーム -----	解熱鎮痛作用
b. プロメライン -----	抗炎症作用
c. フマル酸クレマスチン -----	去痰作用 たん
d. リン酸コデイン -----	鎮咳作用 がい

1. (a, b)    2. (a, d)    3. (b, c)    4. (b, d)    5. (c, d)

【問 2 3】

次の処方並びに用法用量の解熱鎮痛薬を販売するときの説明として正しい組み合わせを次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

【処方】 1錠中	
エテンザミド	200mg
アセトアミノフェン	80mg
アリルイソプロピルアセチル尿素	30mg
無水カフェイン	40mg
【用法用量】	
成人（15才以上） 1回2錠	
小児（7～15才未満） 1回1錠	
1日3回を限度とする。服用間隔は4時間以上おくこと。	

- a. 解熱鎮痛薬は、痛みや発熱の原因となっている病気や外傷自体を治すものである。
- b. 添付文書に記載の用法用量どおり服用しても効果がないときは、成人で1回4錠、小児で1回2錠に用量を増やして服用してもよい。
- c. 解熱鎮痛成分としてエテンザミドが配合されているので、インフルエンザにかかっている小児には使用を避ける必要がある。
- d. 発熱している場合は、発汗に伴って体から水分や電解質が失われるので、吸収のよいスポーツドリンクでそれらを補給するのがよい。

1. (a, b)    2. (a, c)    3. (b, c)    4. (b, d)    5. (c, d)

【問 2 4】

次のa～cのプロムワレリル尿素が配合された一般用医薬品に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 使用した後は、乗物又は機械類の運転操作を避ける必要がある。
- b. 反復して摂取すると依存を生じるおそれがある。
- c. 胎児障害の可能性はない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問 2 5】

次の a～c のカフェインに関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 眠気防止薬の主たる有効成分として配合される。
- b. 尿量の減少をもたらす。
- c. 胃液の分泌を抑制する作用がある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	正	誤	誤

【問 2 6】

次の a～c の塩酸ジフェニドールに関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 内耳にある前庭と脳を結ぶ神経の調節作用がある。
- b. 乗り物酔い防止薬に配合される。
- c. 緑内障の診断を受けた人では、その症状を悪化させるおそれがある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	正	正
3	誤	誤	正
4	正	誤	誤
5	誤	正	誤

【問 27】

「小児夜泣き」を適応症とする漢方処方製剤の正しい組み合わせを次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 乙字湯おつじとう
- b. 柴胡加竜骨牡蛎湯さいこかりゅうこつほれいとう
- c. 大黃甘草湯だいおうかんそうとう
- d. 抑肝散よくかんさん

1. (a, b)    2. (a, c)    3. (b, c)    4. (b, d)    5. (c, d)

【問 28】

鎮咳去痰薬がいたんに配合される気管支拡張成分のうち、自律神経系を介さずに気管支の平滑筋に直接作用して弛緩させ、気管支を拡張するキサンチン系成分を次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1. 塩酸トリメトキノール
- 2. 塩酸メチルエフェドリン
- 3. 塩酸メトキシフェナミン
- 4. ジプロフィリン
- 5. メチルエフェドリンサッカリン塩

【問 29】

次の a～c のヨウ素系殺菌消毒成分を含む口腔咽喉薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 甲状腺におけるホルモン産生に影響を及ぼす可能性がある。
- b. ヨウ素は胎盤関門を通過しないので、妊娠中に摂取しても胎児に移行しない。
- c. パセドウ病の治療に影響するおそれがある。

	a	b	c
1	正	誤	誤
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	正	正	正
5	誤	正	誤

【問 30】

次の a～c の制酸成分を含む胃の薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 腎臓病の診断を受けた人では、無機塩類の排泄が遅れたり、体内に貯留しやすくなる。
- b. 炭酸カルシウムによる作用を期待して、ボレイ（カキの貝殻）を用いる場合がある。
- c. ウルソデオキシコール酸は制酸成分である。

	a	b	c
1	誤	正	誤
2	誤	誤	正
3	正	正	誤
4	正	誤	正
5	正	正	正



【問 3 1】

次の a～c の ( ) に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

腸の薬に配合される収斂成分は、腸粘膜の ( a ) と結合して ( b ) の膜を形成し、腸粘膜をひきしめることにより、腸粘膜を保護し、炎症を鎮める。

収斂成分を主体とする ( c ) については、細菌性の下痢や食中毒のときに使用して腸の運動を鎮めると、かえって状態を悪化させるおそれがある。

	a	b	c
1	たん 蛋白質	不溶性	止瀉薬
2	糖質	不溶性	止瀉薬
3	たん 蛋白質	不溶性	瀉下薬
4	糖質	可溶性	瀉下薬
5	糖質	可溶性	止瀉薬

【問 3 2】

次の a～c の抗コリン成分が配合された胃腸鎮痛鎮痙薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 抗コリン成分が副交感神経系の働きを抑える作用は消化管に限定される。
- b. 散瞳による目のかすみや異常な眩しさが現れることがある。
- c. 塩酸パパベリンは抗コリン成分である。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	誤	正	誤
3	誤	誤	正
4	正	正	正
5	正	誤	正

【問 3 3】

次の a～c の一般用医薬品の駆虫薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 腸管内の回虫や<sup>ぎょう</sup>蟯虫は駆除できない。
- b. 駆除した虫体や腸管内に残留する駆虫成分の排出を促すときは、ヒマシ油を併用するのが良い。
- c. カイニン酸は駆虫成分である。

	a	b	c
1	誤	正	誤
2	正	正	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	正	誤	誤

【問 3 4】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. コレステロールの産生及び代謝は、主として<sup>すい</sup>膵臓で行われる。
- b. 高コレステロール改善成分であるポリエノスファチジルコリンは、水溶性物質である。
- c. ビタミンEは、コレステロールから過酸化脂質の生成を抑える作用がある。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	正	正	正

【問 3 5】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 鉄製剤は、鉄欠乏性貧血に対して不足している鉄分を補充し、造血機能の回復を図る医薬品である。
- b. 骨髄での造血機能を高めるため、貧血用薬には硫酸バリウムが配合されている場合がある。
- c. 鉄製剤の服用の直前にタンニン酸を含むお茶等の飲食物を摂取すると、鉄の吸収が良くなる。

	a	b	c
1	誤	正	誤
2	正	正	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	正	誤	誤

【問 3 6】

次の a～c の一般用医薬品に配合されるクレオソートに関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 石炭が原料である。
- b. 麦芽糖が主成分で、腸内細菌によって分解され生じるガスが便通を促すとされている。
- c. 局所麻酔作用があるとされている。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	正	正	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問 3 7】

次の a～c のグリセリンが配合された浣腸薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 浸透圧の差によって腸管壁から水分を取り込んで直腸粘膜を刺激し、排便を促す。
- b. 排便時の血圧低下が生じないので、体力の衰えている高齢者や心臓に基礎疾患がある人に適する。
- c. グリセリンが傷口を覆うため、肛門や直腸の粘膜に損傷があり出血している人に適する。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	誤	正
4	誤	正	正
5	誤	正	誤

【問 3 8】

次の a～c の ( ) に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

局所麻酔成分は、皮膚や粘膜の局所に適用されると、その周辺の ( a ) に作用して刺激の伝達を ( b ) に遮断する作用を示す。痔に伴う痛み・痒みを和らげることが目的として配合される局所麻酔成分には、( c ) がある。

	a	b	c
1	運動神経	非可逆的	アラントイン
2	運動神経	可逆的	アラントイン
3	運動神経	非可逆的	塩酸ジブカイン
4	知覚神経	可逆的	塩酸ジブカイン
5	知覚神経	非可逆的	アラントイン

【問 39】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 鼻炎用内服薬に配合される抗コリン成分は、鼻汁分泌やくしゃみを抑える。
- b. ベラドンナの根茎や根には、副交感神経系の働きを抑える作用を示すアルカロイドが豊富に含まれる。
- c. 塩酸セレギリン等のモノアミン酸化酵素阻害剤は、体内でのプソイドエフェドリンの代謝を妨げる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	誤	正
4	正	誤	正
5	誤	正	誤

【問 40】

次の表はある鼻炎用点鼻薬に含まれている成分の一覧である。

1mL中	
塩酸ナファゾリン	0.5mg
塩化ベンゼトニウム	0.2mg
グリチルリチン酸二カリウム	2.0mg
マレイン酸クロルフェニラミン	5.0mg

この鼻炎用点鼻薬に関する記述の正しい組み合わせを次の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 塩酸ナファゾリンは、局所麻酔成分で鼻粘膜の過敏性や痛みを抑える。
- b. 塩化ベンゼトニウムは、アドレナリン作動成分で鼻粘膜の充血や腫れを和らげる。
- c. グリチルリチン酸二カリウムは、抗炎症成分で鼻粘膜の炎症を和らげる。
- d. マレイン酸クロルフェニラミンは、抗ヒスタミン成分でくしゃみや鼻汁の症状を緩和する。

1. (a, b)    2. (a, c)    3. (b, c)    4. (b, d)    5. (c, d)

【問 4 1】

次の a～c の眼科用薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. コンタクトレンズ装着液は、配合成分の種類にかかわらず、医薬品としてのみ認められている。
- b. 点眼の際には、容器の先端がまぶたやまつげに触れないように注意する。
- c. 点眼後は、まぶたを閉じて、目頭を軽く押さえると、薬液が鼻腔内へ流れ込むのを防ぐことができ、効果的とされる。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	正	正
3	正	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	誤	誤

【問 4 2】

目の充血、炎症を抑える配合成分に関する記述について、次の a～d の ( ) に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

点眼薬には、結膜を通っている血管を ( a ) させて目の充血を除去することを目的として、( b ) 等の ( c ) 作動成分が配合されている場合がある。

この成分は、緑内障と診断された人では、眼圧の ( d ) をまねき、緑内障を悪化させるおそれがある。

	a	b	c	d
1	拡張	硝酸ナファゾリン	コリン	低下
2	拡張	メチル硫酸ネオスチグミン	アドレナリン	低下
3	収縮	硝酸ナファゾリン	アドレナリン	上昇
4	収縮	メチル硫酸ネオスチグミン	コリン	上昇
5	収縮	硝酸ナファゾリン	コリン	上昇

【問 4 3】

次の a～c の目の痒み<sup>かゆ</sup>を抑える配合成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 塩酸ジフェンヒドラミンは、肥満細胞からのヒスタミン遊離を抑える。
- b. クロモグリク酸ナトリウムは、ヒスタミンが受容体と反応するのを妨げることに  
よりヒスタミンの働きを抑える。
- c. クロモグリク酸ナトリウムは、内服で用いられる場合と同様に、点眼薬の配合成  
分として使用された場合であっても、アナフィラキシー様症状を生じることがあ  
る。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	誤	正	誤
3	正	誤	誤
4	正	正	誤
5	正	正	正

【問 4 4】

次の表はある一般用医薬品の点眼薬に含まれている成分の一覧である。

1mL中	
スルファメトキサゾール	40.0mg
マレイン酸クロルフェニラミン	0.3mg
グリチルリチン酸二カリウム	2.5mg
アミノエチルスルホン酸	5.0mg

この点眼薬に関する記述の正しい組み合わせを次の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 結膜炎（はやり目）、ものもらい（麦粒腫<sup>しゅ</sup>）、眼瞼炎（まぶたのただれ<sup>けん</sup>）に用いられる。
- b. コリンエステラーゼの働きを抑える成分が配合されている。
- c. 緑内障にも用いられる。
- d. サルファ剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人では、使用を避ける。

1. (a, b)    2. (a, c)    3. (a, d)    4. (b, c)    5. (b, d)

【問 4 5】

次の a～c のきず口等の殺菌消毒成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 過酸化水素水は、組織への浸透性が高い。
- b. マーキュロクロムは、ヨードチンキと混合されると不溶性沈殿を生じて殺菌作用が低下する。
- c. 消毒用エタノールは、脱脂による肌荒れを起こしやすい。

	a	b	c
1	正	正	正
2	正	誤	正
3	誤	正	正
4	正	正	誤
5	誤	誤	誤

【問 4 6】

次の a～c の外皮用薬に使用される<sup>かゆ</sup>痒み、<sup>は</sup>腫れ、痛み等を抑える配合成分に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ブフェキサマクは、分子内に副腎皮質ホルモンと共通する化学構造を持つ成分である。
- b. インドメタシンは、内服で用いられる場合と異なり、<sup>ぜんそく</sup>喘息の副作用を引き起こす可能性はない。
- c. イブプロフェンピコノールは、イブプロフェンの誘導体であるが、専らにきび治療薬に用いられる。

	a	b	c
1	誤	正	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	誤	誤	正
5	正	正	正



【問 4 7】

代表的な抗菌成分であるサルファ剤の正しい組み合わせを次の 1～5 から一つ選び、その番号を解答用紙へ記入しなさい。

- a. クロトリマゾール
- b. クロラムフェニコール
- c. スルファジアジン
- d. ビホナゾール
- e. ホモスルファミン

1. (a , b)    2. (a , d)    3. (b , c)    4. (c , e)    5. (d , e)

【問 4 8】

次の a～c の毛髪用薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 「壮年性脱毛症」の疾患名を掲げた効能・効果は、医薬部外品に分類される毛髪用薬で認められる。
- b. 塩化カルプロニウムは、アセチルコリンと異なり、コリンエステラーゼによる分解を受けにくく、作用が持続するとされる。
- c. カシュウは、頭皮における脂質代謝を高めて、余分な皮脂を取り除く作用を期待して用いられる。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	正	誤	誤
3	正	正	誤
4	誤	正	正
5	正	誤	正

【問 49】

歯痛薬（外用）に配合される殺菌消毒成分の正しい組み合わせを次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. アミノ安息香酸エチル
- b. 塩化セチルピリジニウム
- c. テーカイン
- d. フェノール

1. (a, b)    2. (a, c)    3. (a, d)    4. (b, c)    5. (b, d)

【問 50】

次の a～c の咀嚼<sup>そしゃく</sup>剤である禁煙補助剤に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 噛む<sup>か</sup>ことにより口腔<sup>くわう</sup>内でニコチンが放出され、口腔<sup>くわう</sup>粘膜から吸収されて循環血液中に移行する。
- b. ニコチン置換療法により、喫煙を続けたまま、徐々にタバコの本数を減らすことが出来る。
- c. 使用期間は3ヶ月を目途とし、6ヶ月を超える使用は避ける。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	正	正	正
4	誤	誤	正
5	誤	正	誤

【問 5 1】

過剰摂取により過剰症を生じるおそれがある脂溶性ビタミンの正しい組み合わせを次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. エルゴカルシフェロール
- b. 塩酸チアミン
- c. 酢酸レチノール
- d. 酪酸リボフラビン

1. (a, c)    2. (a, d)    3. (b, c)    4. (b, d)    5. (c, d)

【問 5 2】

ビタミンD主薬製剤に関する記述を次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1. しみ、そばかす、日焼け・かぶれによる色素沈着の症状の緩和に用いられる。
- 2. 骨歯の発育不良、くる病の予防に用いられる。
- 3. 末梢血管障害による肩・首すじのこり、手足のしびれ・冷え、しもやけの症状の緩和に用いられる。
- 4. 神経痛、筋肉痛・関節痛（腰痛、肩こり、五十肩など）、手足のしびれ、便秘、眼精疲労、脚気の症状の緩和に用いられる。
- 5. 目の乾燥感、夜盲症（とり目）の症状の緩和に用いられる。

【問53】

次のa～cの漢方に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 漢方の考え方として重要なものは、患者の証（体質及び症状）及び陰陽五行説である。
- b. 実証とは、体内の臓器を働かせるエネルギーの貯蔵量が少ない体質をいう。
- c. 陽病とは、実際に使用するエネルギーが少ないため臓器の機能が低下している状態をいう。

	a	b	c
1	正	誤	正
2	誤	正	誤
3	正	正	正
4	誤	正	正
5	正	誤	誤

【問54】

次の漢方処方製剤のうち、構成生薬としてダイオウを含む製剤の正しい組み合わせを次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 清上防風湯
- b. 大柴胡湯
- c. 防己黄耆湯
- d. 防風通聖散

1. (a, b)    2. (a, c)    3. (a, d)    4. (b, c)    5. (b, d)

【問 5 5】

利尿、健胃、鎮静等の作用を期待して用いられるサルノコシカケ科のマツホドの菌核を用いた生薬を次の1～5から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

1. サイコ
2. サンザシ
3. ショウマ
4. ブクリョウ
5. ボウフウ

【問 5 6】

次のa～cの消毒薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 次亜塩素酸ナトリウムは、有機物の影響を受けやすいので、殺菌消毒の対象物を洗浄した後に使用した方が効果的である。
- b. サラシ粉は、有機塩素系の殺菌消毒成分である。
- c. 次亜塩素酸ナトリウムには、金属腐食性がある。

	a	b	c
1	誤	誤	正
2	正	誤	誤
3	誤	正	誤
4	正	正	正
5	正	誤	正

【問 5 7】

次の a～c の記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. ジクロールボスは、有機リン系殺虫成分であり、コリンエステラーゼと不可逆的に結合してその働きを阻害する。
- b. フェノトリンは、カーバメイト系殺虫成分であり、人体に寄生したシラミの駆除に用いられる。
- c. オルトジクロロベンゼンは、有機塩素系殺虫成分であり、残留性や体内蓄積性の問題から、現在では使用されていない。

	a	b	c
1	正	正	誤
2	正	誤	正
3	正	誤	誤
4	誤	正	正
5	誤	誤	正

【問 5 8】

次の a～d の ( ) に入る字句の正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

ディートを含有する忌避剤は、生後 ( a ) 未満の乳児への使用を避けることとされている。また、生後 ( a ) から ( b ) 未満までの小児については、顔面への使用を避け、1日の使用限度「( a ) 以上 ( c ) 未満：1日1回、( c ) 以上 ( b ) 未満：1日 ( d )」を守って使用する必要がある。

	a	b	c	d
1	3ヶ月	6歳	3歳	1～4回
2	3ヶ月	6歳	2歳	1～4回
3	6ヶ月	6歳	3歳	1～4回
4	6ヶ月	12歳	2歳	1～3回
5	6ヶ月	12歳	3歳	1～3回

【問59】

次のa～cの一般用医薬品の尿糖・尿<sup>たん</sup>蛋白検査薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 出始めの尿では、尿道や外陰部等に付着した細菌や分泌物が混入することがあるため、中間尿を採取して検査することが望ましい。
- b. 検査薬の検出部分を直接手で触れても、検査結果に影響は見られない。
- c. 検査薬は、尿中の糖や<sup>たん</sup>蛋白質の有無を調べるものであり、その結果をもって直ちに疾患の有無や種類を判断することはできない。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	正	誤
3	誤	誤	正
4	正	正	誤
5	正	誤	正

【問60】

次のa～cの妊娠検査薬に関する記述の正誤について、正しい組み合わせを下表から一つ選び、その番号を解答用紙に記入しなさい。

- a. 尿中のヒト<sup>じゅう</sup>絨毛性<sup>せん</sup>性腺刺激ホルモン（hCG）の検出反応は、抗体や酵素を用いた反応であるため、温度の影響を受けることがある。
- b. <sup>じゅう</sup>絨毛細胞が<sup>しゅよう</sup>腫瘍化している場合には、妊娠していなくても検査結果が陽性になることがある。
- c. 子宮外妊娠や胎状奇胎を生じている場合には、妊娠しているにもかかわらず検査結果が陰性となることがある。

	a	b	c
1	正	正	正
2	誤	正	正
3	誤	誤	正
4	誤	正	誤
5	正	誤	誤